

2011.3.25

社団法人 日本物理学会

2010年度(2010年1月1日から
2010年12月31日まで)事業報告書

報告項目

- 1. はじめに
- 2. 事業の概要
 - 2-1. 学術講演会の開催・後援等
 - 2-2. 国際交流・協力活動
 - 2-3. 物理学に関する普及・啓蒙活動
 - 2-4. 本会の目的達成のために重要な活動
 - 2-5. 刊行物

- 3. 処務の関係
 - 3-1. 総会・役員に関する事項
 - 3-2. 契約・入札・他に関する事項
- 4. 会員の異動状況
- 5. 参考データ

1. はじめに

本会の2010年度事業運営にあたり、事業基盤整備のために行った活動の主なものとしては

- 1) ジャーナル刊行事業新体制の検討
- 2) 新法人移行に備えた準備
- 3) 事務局業務分掌の見直し

などを挙げることができる。

1) ジャーナル刊行事業新体制の検討

基礎物理学研究所を中心に刊行されてきた PTP (Progress of Theoretical Physics) は64年の歴史を有し、主として素粒子、核物理分野の理論をカバーする重要なジャーナルである。しかし、日本の物理学の将来を見据えて、2013年版を最後にその将来を日本物理学会に委ねることとなった。これを受けた本会は、前年に引き続き、JPSJ, PTP の英文ジャーナル2誌の刊行体制がどうあるべきかについて議論を重ねてきた。具体的には新欧文誌刊行準備委員会を設置し、PTPは理論だけでなく実験分野の論文にも開かれたオープンアクセスのジャーナルとすることを決定した。誌名も PTEP (Progress of Theoretical and Experimental Physics) とする。オープンアクセス化に伴い、事業としての収支モデルの確立が課題として残っている。

2) 一般社団法人移行に備えた準備

新法人体制への移行に関しては、一般社団法人の申請をすることを3月の定時総会で、そのために必要な定款変更の案を7月の臨時総会で承認した。また、新しい法人法の定めに沿えるよう、選挙管理委員会規定を整備し、委員会を発足させた。次々期会長選挙はこの選挙管理委員会の下で行った。新しい体制では、支部の活動も本部事業の一環である事が要求される。このために支部規約の整備、支部会計の組み入れの方法などを検討した。

3) 事務局業務分掌の見直し

事務局の業務は、会員、会計、大会、会誌、刊行など4、5種類に大別される。職員はこれらの異なる業務を出来るだけ多く経験しておくことで相互の理解、連携が確実なものになる。このために定期的に担当を代える、ジョブローテーションが必須であり、今期は3名の職員の担当替えを中心にして、大部分の職員のローテーションを実施した。

4) 就業規則の見直し

事務局職員の就業規則見直しを実施した。その理由のひとつは休暇の日数、手当などで公務員準拠のレベルからの乖離が目立つようになったことである。もうひとつは、刊行センター運営上、応用物理学会との合意によりセンター独自の就業規則を廃止し、センターで働く職員はそれぞれの雇用学会の規則に従うようにしたためである。両学会間で統一出来る規則は可能な限り一致させて、センターで働く職員の不公平感を少なくしようとするものである。改定案の説明を実施して、2011年度初めからの変更を目指したが、職員の納得が得られず2011年4月からの実施を目指している。

2. 事業の概要

2-1. 学術講演会の開催・後援等

2-1-1. 第65回年次大会関係

会期: 3月20日(土)~23日(火)
会場: 岡山大学津島キャンパス(岡山市北区津島中3-1-1)

講演数: 4,128件

内訳: 原著講演 3,764件 シンポジウム講演 261件
招待・企画講演 42件 若手奨励賞受賞記念講演 59件

総合講演 2件

参加登録者数: 5,713名

会員 5,489名(一般 3,546名 学生 1,943名)
非会員 224名(一般 72名 学生 152名)

総合講演

会期: 3月22日(月) 10:00~12:15

会場: 岡山県総合グラウンド体育館[桃太郎アリーナ]

1. 「仕分けられて良いのか? 物理学、基礎科学、科学教育」60分

滝川洋二(東京大学教養学部附属教養教育開発機構)

2. 「Korean Physical Society and quantum photonic science in Korea」60分

Young Pak Lee (Hanyang University; President of Korea Physical Society)

託児室

8家族10名(延べ27名)

2-1-2. 秋季大会

2-1-2-1. 素粒子・核物理・宇宙線・宇宙物理・ビーム物理領域関係大会

会期: 9月11日(土)~14日(火)

会場: 九州工業大学戸畠キャンパス(北九州市戸畠区仙水町1-1)

講演数: 876件

原著講演 810件 シンポジウム講演49件 招待・企画講演17件

参加登録者数: 1,222名

会員 1,166名(一般 727名 学生 439名)

非会員 56名(一般 25名 学生 31名)

託児室

0家族

2-1-2-2. 物性関係を含む上記以外の大会

会期: 9月23日(木)~26日(日)

会場: 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(堺市中区学園町1-1)

講演数: 3,124件

原著講演 2,995件 シンポジウム講演 117件 招待・企画講演 12件

参加登録者数: 4,167名

会員 3,984名(一般 2,455名 学生 1,529名)

非会員 183名(一般 45名 学生 138名)

託児室

2家族 4名(延べ 5名)

(注: 以上の年次大会・秋季大会の会場で開催した、市民科学講演会、Jrセッションについては2-3 物理学に関する普及・啓蒙活動の項目に記載)

2-1-3. 各種国内会議

131件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。

2-2. 国際交流・協力活動

2-2-1. 国際会議の共催

会議名: アジアナノ2010

主催：アジアナノ2010実行委員会委員長 原正彦

会期：2010年11月1日～11月3日

場所：日本科学未来館(江東区青海2-3-6)

本会代表運営委員：原 正彦(理化学研究所)

参加者数：387名

なお、上記1件の国際会議を共催した他に、29件の国際会議の協賛・後援を行った。

2-2-2. その他の国際活動

- アジア地区の物理学の連合を考える会、AAPPs 小委員会の発足
- AAPPs(アジア・太平洋物理学連合)の加盟学会としての活動
 - APPC11へ本会から10名の派遣
 - 2013年 APPC の日本誘致
 - AAPPs 新体制への積極的関与
- 海外からの投稿者への JPSJ 掲載料金援助
- 諸外国の学会との JPSJ の交換
- IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への協力 (IUPAP の Women in Physics への協力)
- ASEPS (アジア・ヨーロッパ物理学サミット) への協力

2-3. 物理学に関する普及・啓蒙活動

2-3-1. 科学セミナー

セミナー名：スピントロニクス—最先端の物理と技術—

会期：8月19日～8月20日

会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館1階講堂

演題：「スピントロニクス—最先端の物理と技術—」以下9件

聴講料：無料

聴講者数：261名

2-3-2. 公開講座

【理事会企画】

テーマ：

演題：超伝導からみる科学技術の最先端

会期：2010年11月6日(土)

場所：東京大学本郷キャンパス小柴ホール

参加者数：104名(中学生8名、高校生9名、大学生13名、高校教員28名、他46名)

2-3-3. 年次大会・秋季大会併設市民向け講演会

【市民科学講演会(1)】「ニュートリノや光、電波で見る宇宙」

会期：3月20日(土)13:00～17:00

会場：岡山大学津島キャンパス創立50周年記念館多目的ホール(FC会場)

1. 「宇宙、人間、素粒子」 小柴昌俊(東京大学特別栄誉教授)
2. 「見えてくるか第二の地球」 海部宣男(放送大学大学院教授、国立天文台名誉教授)

参加者数：約370名

【市民科学講演会(2)】

会期：9月12日(日)13:30～16:30

会場：九州工業大学記念講堂

1. 「熱々のクォーク・スープと宇宙の始まり」 初田哲男(東京大学大学院理学系研究科教授)
2. 「科学とニセ科学はどう向き合うか」 池内 了(総合研究大学院大学 理事)

参加者数：約200名

【市民科学講演会(3)】「リズムと雑音の役割を知ろう」

会期：9月23日(木)14:00～16:30

会場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス Uホール白鷺

1. 「リズム現象の科学」 藏本由紀(京都大学客員教授)
2. 「雑音の思いがけない役割と機能」 甲斐昌一(九州大学教授)

参加者数：約600名

ほかに、現地実行委員会企画による以下の市民向け講演会を開催した。

2-3-4. 第6回Jr.セッション(主に高校生による講演発表会・年次大会会場で開催)

会期：3月21日(日)9:00～17:00

会場：岡山大学津島キャンパス創立50周年記念館多目的ホール

発表件数：28件(口頭14件、ポスター14件)

表彰件数：最優秀賞1件 優秀賞3件 奨励賞6件

参加者数：約200名(うち高校生約150名)

2-3-5. その他

【物理教育シンポジウム】「新時代の物理教育を探る」

主催：(社)日本物理学会

共催：日本物理教育学会

後援：日本物理教育学会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会

期日：2010年4月4日(日)13:00～17:00

場所：東京大学小柴ホール

プログラム：

1. はじめに 村田隆紀
2. 米国の物理教育の動向 覧具博義(JST)
3. 研究に基づく物理教育の改善と評価 笠 潤平(香川大学教育)
4. 専門課程教育を活かす物理導入基礎教育の実践 三沢和彦(東京農工大学工)
5. 物理コースの質の保証と認証評価—JABEEの経験から 酒井 康弘(東邦大学理)

6. 総合討論

参加者数：72名

【自然の不思議—物理教室】

共同主催：日本物理学会・国立科学博物館・日本物理教育学会

開講日：5月29日(土), 6月5日(土), 7月24日(土),
7月31日(土), 9月20日(日・祝日)

場所：国立科学博物館 上野本館地球館(東京都台東区)

主な対象は小学5年～中学3年。毎回15名～20名の参加者があった。

【世田谷区への協力事業】

「世田谷区中学生講座」サイエンスドリーム

主催：世田谷区教育委員会

企画協力：日本物理学会

会期・場所：12月5日(日)・キャロットタワーセミナールームB
12月19日(日)・キャロットタワーセミナールームA

【高校物理の授業に役立つ基本実験講習会】

主催：物理教育研究会(APEJ)

(社)日本物理学会

共催：日本物理教育学会

(社)応用物理学会

後援：学術図書出版社

大学発教育支援コンソーシアム推進機構

期日：2010年7月18日(日)～7月19日(月休日)

場所：麻布高校(港区元麻布)

対象：現職の物理(理科)教員、物理(理科)教員を志望する学生他

定員：60名

2-4. 本会の目的達成のために重要な活動

2-4-1. 第15回論文賞の表彰

5編25名を表彰した。

2-4-2. キャリア支援センター

文科省の委託事業終了後(2010年3月)も学会として若手物理系人材のキャリア支援を継続することが理事会で承認され、2010年度は学会独自の活動として行える範囲で活動を行った。主な活動としてメール、Webによるキャリア支援関連情報の周知と、物理系人材向けの合同企業説明会を関東、関西で11月に行った。(詳細はキャリア支援センター Web ページを参照。)

2-4-3. 協力活動

(1) 物理チャレンジ・オリンピックへの協力

多数の会員が協力し、クロアチアで開催された物理オリンピックでの参加者の活躍を支援。

(2) 物理教育・理科教育、JABEE、男女共同参画、研究者の研究環境等に関する活動。

•「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力

•「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係

物理・応用物理学関連分野連絡協議会の事務局を引き継ぎ、審査1件について審査委員会の結成、審査に関する事務処理を実施した。

•男女共同参画関係

8月12日～8月14日 “女子中高生夏の学校～科学者・技術者のたまごたちへ” 参加

•研究費配分に関する研究環境関係

(3) 日本学術会議および文部科学省等への協力

日本学術会議主催の各種シンポジウムの会員への周知、参加、また、学術誌問題包括的コンソーシアム活動などへの参加を通じて協力を行った。文部科学省からの多数にわたる各種調査に協力した。

2-4-4. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)

応用物理学会と協同して運営を行った。センター運営に関わる協定書の発効に伴い、2011年1月1日から、刊行センター職員はそれぞれの雇用学会の就業規則に従うことになった。

これに向けて両学会は就業規則の改定、摺り合せに努め、応用物理学の雇用職員は予定通りに施行した。物理学会は2011年4月の実施を目指している。

2-4-5. 支部活動

• 支部委員長会議

9月24日(金)大阪府立大学の物性関係秋季大会会場にて各支部から

2月1日, 5月8日,
• AAPPS 小委員会
12月13日

3-1-4. その他の事項

• 新公益法人化への対応について

ワーキンググループでの検討を重ね、2011年4月までに一般社団法人への移行認可申請を行い、2011年9月からの新法人移行を目指すことを決定、7月の臨時総会で定款変更の案を承認した。

また、新体制移行時の代議員資格の連続性を確保するために、現行の細則の代議員に関する部分の改定、選挙管理委員会規定の新設を行った。

• 理論物理学刊行会のPTP出版事業の本会への移行について

PTEPをオープンアクセス誌として2012年に創刊、2012年は年4回以上の不定期刊行とし、同年中はPTPとPTEPが共存することなどを決定した。

3-2. 契約・入札・他に関する事項

• 契約に関する事項(新規契約)

契約月日	相手方	契約の種類	期間
4月20日	リコーリース(株)	請求回収業務委託 契約書	1年
5月20日	(株)ジェーシーエス	機密保持契約書	1年
6月1日	小森谷 経営労務事務所	業務委託契約書	1年
7月28日	富士ソフト(株)	Google Apps および付帯サービス注文書兼契約書	
7月30日	SBI ペリトランス(株)	収納代行サービス 利用契約	
10月22日	小谷野公認 会計士事務所	コンサルティング 契約書	新法人移行 登記日まで
10月1日	(一社)日本技術者 教育認定機構	平成22年度技術者 教育プログラム認定審査業務契約書	5ヶ月
12月22日	勝美印刷(株)	会誌審査システム 開発業務委託	

• 入札に関する事項

英文論文誌(JPSJ)の全文データベース並びに英文校閲に関して競争入札を実施(6月8日)

英文論文誌(JPSJ)の組版・印刷・製本に関して競争入札を実施(12月27日)

• その他の事項

応用物理学会と「物理系学術誌刊行センター運営に関する協定書」の締結(4月1日)

• 許可、認可および承認に関する事項(なし)

4. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減
	2009年12月31 現在	2010年12月31 現在	
正会員	17,039 ¹⁾ (内: 大学院生数 2,568)	17,283 ²⁾ (内: 大学院生数 2,151)	+224
学部学生会員	113	47	-86
賛助会員	94 (307 口)	90 (267 口)	-4 (-40 口)
特別会員	892 ³⁾	838 ⁴⁾	-54
計	18,138	18,258	+120

¹⁾ うち名誉会員 6, シニア会員 435

²⁾ うち名誉会員 6, シニア会員 495

³⁾ 会誌: 国内 277 国外 4

JPSJ: 国内 186 (オンライン版のみ 3, プラス冊子版 183)

国外 425 (オンライン版のみ 0, プラス冊子版 425)

⁴⁾ 会誌: 国内 260 国外 3

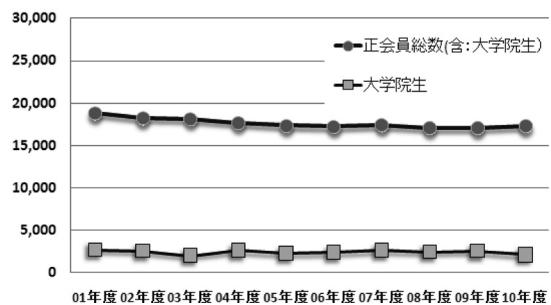
JPSJ: 国内 156 (オンライン版のみ 18, プラス冊子版 138)

国外 419 (オンライン版のみ 65, プラス冊子版 354)

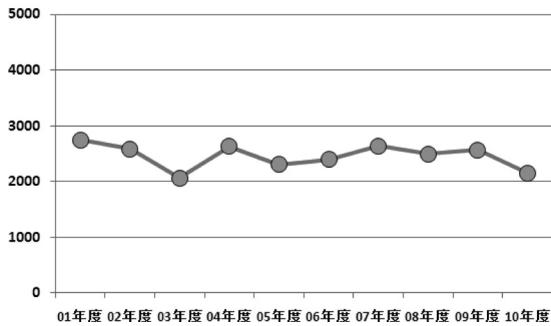
5. 参考データ

5-1. 会員異動

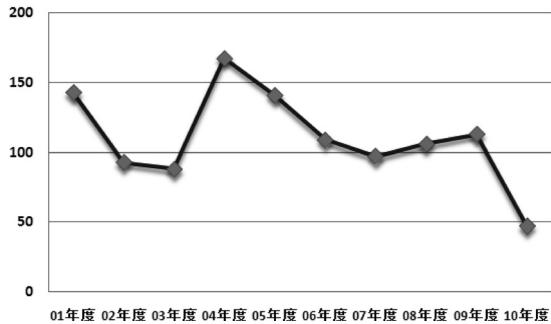
正会員数推移



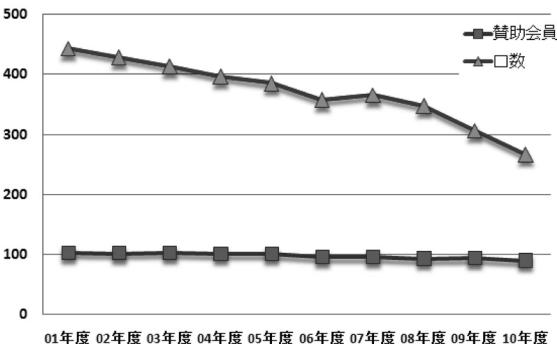
大学院生の会員数推移



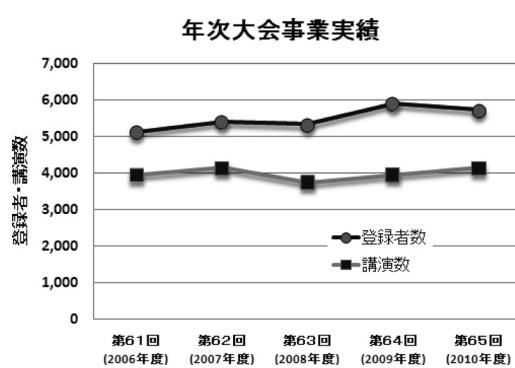
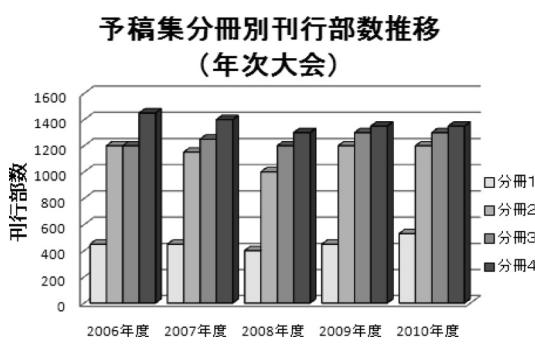
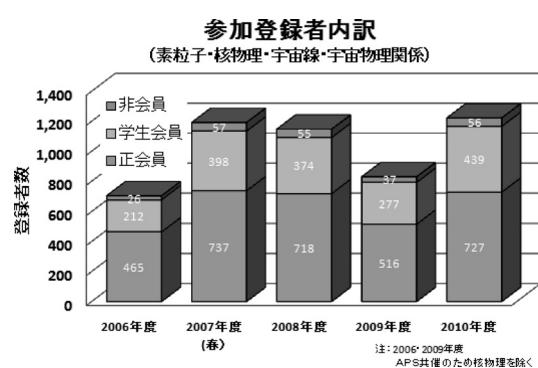
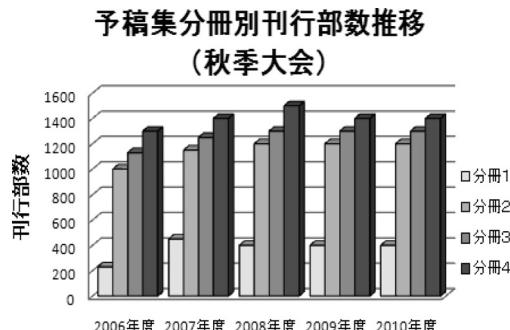
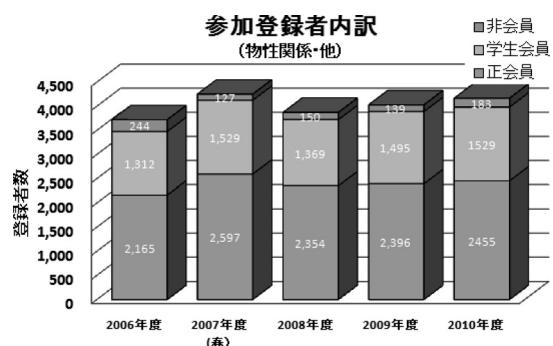
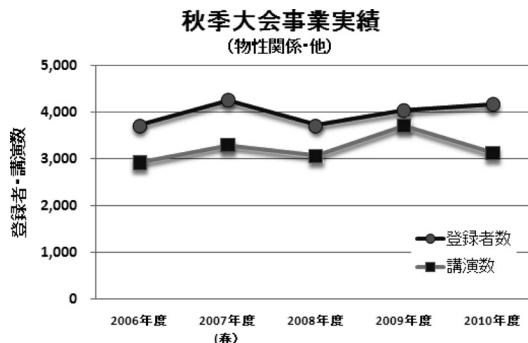
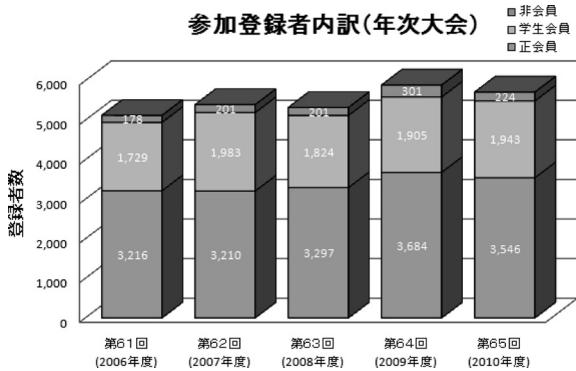
学部学生会員数推移



賛助会員数および口数推移



5-2. 大会関連



5-3. 刊行物関連

